

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月23日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東

コード番号 7970 URL https://www.shinpoly.co.jp/

表 者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 出戸 利明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部 経営企画部長兼経理部長

(氏名) 小和田 収

(TEL) 03 (5288) 8404

半期報告書提出予定日

2025年11月7日

配当支払開始予定日

2025年11月26日

決算補足説明資料作成の有無

:有

決算説明会開催の有無

:有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	5	営業利	l益	経常利	J益	親会社株主 する中間	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	56, 215	2. 7	7, 110	2. 7	7, 247	9. 3	5, 483	19. 5
2025年3月期中間期	54, 737	2. 4	6, 922	17. 7	6, 633	3. 6	4, 589	△0.6

(注)包括利益 2026年3月期中間期

2,277百万円(△77.8%)

2025年3月期中間期 10,278百万円(28.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	68. 12	67. 72
2025年3月期中間期	56. 81	56. 52

(2) 連結財政状態

(2) 连帕别威仍忍						
	総資産	純資産	自己資本比率			
	百万円	百万円	%			
2026年3月期中間期	149, 365	123, 530	82. 4			
2025年3月期	152, 988	123, 154	80. 2			

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 123,025百万円

2025年3月期 122,744百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭				
2025年3月期	_	25. 00	_	27. 00	52. 00				
2026年3月期	_	30. 00							
2026年3月期(予想)			_	30.00	60.00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2025年10月23日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)及 び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(0/4 表示) (0/4 表示) (0/4 表示)

							(70	ないいない	
	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期紀	に帰属 も利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113, 500	2. 6	13, 900	4. 7	14, 000	5. 9	9, 500	0.7	118. 10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名)株式会社キッチニスタ

:有

: 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

④ 修正再表示

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	82, 623, 376株	2025年3月期	82, 623, 376株
2026年3月期中間期	2, 037, 285株	2025年3月期	2, 180, 585株
2026年3月期中間期	80, 489, 227株	2025年3月期中間期	80, 781, 025株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会資料等の入手方法)

当社は、2025年11月7日(金)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会では2026年3月期第2四半期(中間期)決算のご説明に加えて、2029年度(2030年3月期)を最終年度として更新する中期経営計画「Shin-Etsu Polymer Global & Growth 2029」の詳細及び当社の考えについてご説明いたします。

この説明会で使用する資料につきましては、開催日に公表するとともに、当社URLに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	2
	(1) 当中間期の経営成績の概況	2
	(2) 当中間期の財政状態の概況	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	
2.	中間連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 中間連結貸借対照表	4
	(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	
	中間連結損益計算書	6
	中間連結包括利益計算書	7
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
	(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、持ち直しが見られますが、米国の通商政策の影響により、そのペースが鈍化しました。米国では関税引き上げによる企業収益の圧迫が景気の下押し圧力となりつつあります。欧州では輸出増加の反動から生産調整が続き、景気は持ち直しの動きに足踏みがみられました。中国ではアセアン等への輸出が増加しましたが、経済対策の効果逓減により内需の伸びは鈍化しました。

日本経済は、物価上昇の継続により個人消費が落ち込み、米国の通商政策の影響により景気の下振れリスクが高まりました。

当社グループの関連する産業においては、自動車産業では環境対応車の販売が堅調に推移した一方で、EVの販売は減速が続きました。半導体産業ではAIの活用によるデジタル化の進展を背景に、サーバーやデータセンター向け半導体の需要増加が進みました。

このような状況のもと、当社グループは基盤領域における拡販・合理化、成長領域における能力増強・新規 テーマの探索に注力した事業活動を継続的に展開しました。半導体関連容器は生産能力の増強を継続的に進め ました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は56,215百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は7,110百万円(前年同期比2.7%増)、経常利益は7,247百万円(前年同期比9.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5,483百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、各地域の自動車市場においてハイブリッド車の浸透が進みましたが、総じて厳しい需要環境が 続き、車載向けの入力デバイス全体では低調に推移しました。また、ワイパーなど車載シリコーン成形品の需 要が増したことでコンポーネント関連製品は前年同期を大幅に上回りました。自動車産業以外では、ラップト ップPC用タッチパッドが増加した半面、検査用コネクターの需要が振るわなかったことによりコネクター関 連製品は前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は12,679百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は646百万円(前年同期比26.2%減)となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器は海外向けの出荷容器、工程内容器が共に好調に推移しました。OA機器用部品はプリンター用ローラの需要サイクルの影響を大きく受け、また、キャリアテープ関連製品は微細電子部品用途に持ち直しが見られましたが、大型電子部品、汎用半導体用途が低調だったことから前年同期を下回りました。シリコーンゴム成形品はカテーテルなど医療機器向け部品が伸び前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は29,185百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は5,516百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、外食産業向けラップの中で高付加価値の独自製品であるカラーラップの比率が高まりました。また、機能性コンパウンドはアセアン市場で需要が持ち直したことにより前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は10,874百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は781百万円(前年同期比29.0%増)となりました。

④ その他

その他の売上高は3,476百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は166百万円(前年同期比23.2%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が1,491百万円増加し、未収入金が1,871百万円、建設仮勘定が892百万円、商品及び製品が729百万円、有形固定資産のその他(純額)が357百万円、原材料及び貯蔵品が355百万円、機械装置及び運搬具(純額)が296百万円それぞれ減少したことなどにより、149,365百万円(前連結会計年度末比3,622百万円減)となりました。

当中間連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金が1,608百万円、未払法人税等が830百万円、流動負債のその他が788百万円、電子記録債務が542百万円それぞれ減少したことなどにより、25,835百万円(前連結会計年度末比3,998百万円減)となりました。

当中間連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が3,311百万円増加したほか、主要な海外連結子会社の記帳通貨において前連結会計年度末と比較して円高となった結果、為替換算調整勘定が3,245百万円減少したことなどにより、123,530百万円(前連結会計年度末比375百万円増)となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.2%から82.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月23日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44, 901	46, 392
受取手形、売掛金及び契約資産	24, 588	24, 353
電子記録債権	3, 449	3, 613
商品及び製品	13, 563	12, 834
仕掛品	1,672	1,687
原材料及び貯蔵品	6, 692	6, 336
未収入金	4, 065	2, 194
その他	597	536
貸倒引当金	△116	△281
流動資産合計	99, 414	97, 668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27, 292	27, 101
機械装置及び運搬具(純額)	9, 016	8, 719
土地	6, 825	6, 741
建設仮勘定	3, 688	2, 796
その他 (純額)	2, 970	2, 612
有形固定資産合計	49, 793	47, 971
無形固定資産		
ソフトウエア	836	811
のれん	81	38
その他	61	59
無形固定資産合計	978	909
投資その他の資産		
投資有価証券	929	974
繰延税金資産	881	969
その他	990	872
投資その他の資産合計	2, 801	2, 815
固定資産合計	53, 573	51, 697
資産合計	152, 988	149, 365

/ YY / L			
(単位	•	р нш)	
(11/.			

		(単位:日刀门)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12, 917	11, 308
電子記録債務	3, 281	2, 739
未払金	1,057	762
未払法人税等	2, 776	1, 946
未払費用	2, 739	2, 695
賞与引当金	1, 695	1, 746
役員賞与引当金	73	29
その他	2, 023	1, 235
流動負債合計	26, 566	22, 463
固定負債		
退職給付に係る負債	1, 358	1, 295
その他	1,909	2, 076
固定負債合計	3, 268	3, 371
負債合計	29, 834	25, 835
純資産の部		
株主資本		
資本金	11, 635	11, 635
資本剰余金	10, 730	10, 733
利益剰余金	90, 495	93, 806
自己株式	△2, 628	$\triangle 2,455$
株主資本合計	110, 234	113, 720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371	409
為替換算調整勘定	12, 149	8, 903
退職給付に係る調整累計額	△10	△8
その他の包括利益累計額合計	12, 509	9, 304
新株予約権	410	504
純資産合計	123, 154	123, 530
負債純資産合計	152, 988	149, 365

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	54, 737	56, 215
売上原価	37, 492	38, 932
売上総利益	17, 244	17, 283
販売費及び一般管理費	10, 321	10, 173
営業利益	6, 922	7, 110
営業外収益		
受取利息	143	123
投資有価証券売却益	-	67
その他	157	99
営業外収益合計	300	290
営業外費用		
支払利息	14	19
為替差損	560	115
その他	14	18
営業外費用合計	590	153
経常利益	6, 633	7, 247
特別利益		
新株予約権戻入益	17	8
特別利益合計	17	8
税金等調整前中間純利益	6, 650	7, 256
法人税、住民税及び事業税	2, 177	1, 876
法人税等調整額	△115	△103
法人税等合計	2, 061	1,773
中間純利益	4, 589	5, 483
親会社株主に帰属する中間純利益	4, 589	5, 483

中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4, 589	5, 483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	38
為替換算調整勘定	5, 749	$\triangle 3,245$
退職給付に係る調整額	△32	2
その他の包括利益合計	5, 689	△3, 205
中間包括利益	10, 278	2, 277
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10, 278	2, 277

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(単位:百万円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	Z 2021 0 /100 H /	<u> </u>	
税金等調整前中間純利益	6, 650	7, 256	
減価償却費	2, 499	3, 112	
のれん償却額	36	38	
受取利息及び受取配当金	△172	△155	
支払利息	14	19	
為替差損益(△は益)	527	31	
投資有価証券売却損益 (△は益)	_	△67	
売上債権の増減額 (△は増加)	△121	△824	
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,093	497	
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,848	$\triangle 1,432$	
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	$\triangle 33$	△45	
未払又は未収消費税等の増減額	△308	1,488	
その他	1, 054	356	
小計	9, 393	10, 275	
利息及び配当金の受取額	177	163	
利息の支払額	△16	△18	
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△932	$\triangle 2,672$	
営業活動によるキャッシュ・フロー	8, 622	7, 748	
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の増減額(△は増加)	△352	△268	
有形固定資産の取得による支出	△7, 174	$\triangle 2,343$	
無形固定資産の取得による支出	△139	△142	
その他	76	199	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7, 590	△2, 554	
財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	$\triangle 1,935$	△2, 170	
自己株式の売却による収入	80	172	
その他	△187	△204	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2, 042	△2, 201	
見金及び現金同等物に係る換算差額	2, 189	△1,649	
見金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1, 178	1, 342	
見金及び現金同等物の期首残高	40, 672	42, 736	
見金及び現金同等物の中間期末残高	41,851	44, 078	

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計	(注)	損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	12, 699	27, 382	11, 098	51, 179	3, 557	54, 737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	_	_	_
13-14-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	12, 699	27, 382	11, 098	51, 179	3, 557	54, 737
セグメント利益 (営業利益)	876	5, 224	605	6, 706	216	6, 922

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	中間連結
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計	(注)	損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	12, 679	29, 185	10, 874	52, 739	3, 476	56, 215
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	-	_	_	_	_
□	12, 679	29, 185	10, 874	52, 739	3, 476	56, 215
セグメント利益 (営業利益)	646	5, 516	781	6, 944	166	7, 110

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。